

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録		
招 集 期 日	令 和 5 年 8 月 1 7 日 (木)	
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室	
開 会	8 月 1 7 日 午 前 9 時 3 0 分	
閉 会	8 月 1 7 日 午 前 1 0 時 3 5 分	
教 育 長	戸 ヶ 崎 勤	
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸 ヶ 崎 勤	出 席
	仙 波 憲 一	欠 席
	木 村 雅 文	出 席
	長 道 修	欠 席
	浜 田 美 咲	出 席
説 明 員 (出 席 者)	川和田教育部長、梶山参事、横田次長兼教育政策室長、	
	金澤教育総務課長、杉森教育政策室担当課長	
	鎌田生涯学習課長、高屋生涯学習課課長	
書 記	教育総務課総務担当 今泉主幹、我妻副主幹	
傍 聴 人	0 名	

会議の経過及び結果

教育長

戸田市の小中学校は後7日で夏休みが終わります。先日ラジオで東京のある小学校で夏休みの宿題を全廃したことが話題になっていました。子供の自主性を尊重すると共に教師の働き方改革にも繋げたいとのこと。保護者からは、塾でも宿題が出ているのでありがたい、遊び呆けてしまい学力低下が心配、塾に行っていない子は放置されてしまうのではと賛否両論あったようです。

日本の学校にはかつては三罰、つまり、「体罰」に加え、学習を怠けたことに対する「知罰」(宿題を多く課す、居残り勉強など)やマナーに反したことに対する「徳罰」(掃除を課す、反省文を書かせるなど)がありました。宿題には未だ苦痛のイメージがあるように思います。

先月、校長会議でも私から次のような話しをしました。家庭学習における習得目標を明確にして、その実現のための手立てを考えるとといった取組は未だ弱いのではないか。そもそも年間指導計画に「家庭学習」は意図的・計画的に位置づけられているか。GIGA 端末による学校と家庭とのシームレスな学びにも鑑み、家庭学習の方法や効果等について改めて真剣に考えるべきではないか。ある大規模な研究分析では、社会経済的要因や知能などの交絡変数を統制してもなお、家庭学習の時間と成績の間には有意な相関が見られることが明らかにされている。また、課題を頻繁に出している教師の学級ほど成績が高いという相関関係は見られるものの、課題の量だけでなく学習者がどのように課題に取り組んだかという質的側面が重要との示唆がある。さらに、家庭学習について、中学や高校の教師は学習内容の定着に重きを置いているのに対し、小学校の教師は時間管理能力といった、学業成績として測られにくい能力の育成に焦点を当てているという研究結果もある。小中高とカリキュラムで扱うべき内容が増えていくにつれて、家庭学習への取り組みが知識の定着に対して果たす役割は増えていくと言えるのではないか。

	<p>かつてフランスでは、宿題をめぐる論争が盛り上がりました。宿題は子供にとって苦痛だけで効果が薄く、移民の子は親に勉強を見てもらえないなど、家庭による教育格差も拡大するというのがその主張でした。日本でも「教育格差」という言葉を最近よく耳にします。親の学歴、世帯収入、職業などの社会的、経済的、文化的な要素を統合した「社会経済的地位 (Socio Economic Status : SES)」などによって学力や最終学歴などの結果に差があることが明らかになっています。</p> <p>また、メリトクラシーという言葉があります。生まれや身分によって地位が決定された前近代社会から個人の業績(メリット)によって地位が決定される近代社会への転換によって広がった原理です。学校での学力の形成を支えている原理は、このメリトクラシーであるとも言えます。SES が低くても高い成果をあげている学校に見られる特徴はいくつかありますが、その中の一つが、家庭学習指導のあり方について学校として研究していることです。つまり、自主学習を宿題として課し、教師が点検してフィードバックするといった教育活動が充実しています。</p> <p>時が過ぎる速さは一定ではありません。先は長いと思って過ごす一週間と、後がないとなつてからの一週間では足取りが違います。そろそろ歩きの気分でいられる時期は終わり、そろそろ駆け出さなければとせき立てられる頃合いです。勉強嫌いの子にやる気を起こさせる方法は「叱るな、怒るな。褒めなさい」だとか。親子共々ががんばってほしいものです。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、ただ今から、令和5年第8回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>了承</p>

教 育 長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各 委 員	署名
教 育 長	<p>続きまして、「教育委員提案」について御報告いたします。以前の教育委員会にて委員より御質問のあった件について報告がございます。</p> <p>それでは事務局より説明願います。</p>
事 務 局	<p>御提案のありました、戸田市教育委員会としての「生成 AI」の利用の検討について報告いたします。今回と次回の 2 回に分け、本日は概要のみ報告し、次回に詳細を御説明させていただきたいと思えます。</p> <p>それでは、2 ページを御覧ください。生成 AI をめぐる主な動きです。国においては 4 月頃から教育分野のガイドラインについて検討を開始し、7 月にガイドラインが通知されました。戸田市首長部局では、4 月に ChatGPT に関する調査研究チームを立ち上げており、教育政策室長も構成員として参画しております。戸田市教育委員会としては、教育長の御発言はもとより、文部科学省からのヒアリングへの協力をするとともに、6 月 7 日には基本的な方針を各小・中学校へ周知しました。また、7 月の国のガイドライン発出を踏まえ、各学校及び保護者へ国のガイドラインが発出されたことを周知するとともに、夏季休業中の課題に対する考え方についても周知してまいりました。また、8 月 1 日に主幹教諭・教務主任を対象に生成 AI の利用に関する研修会を実施しております。</p> <p>通知の詳細や研修会の内容についての詳細は次回御報告いたします。本日は参考資料として、教育長の御発言や「Bard」による校務利用でのプロンプト例として、イベントの周知や Facebook の文面作成、保護者への周知文案などを示しました。加えて、授業等のデザイン案についても示してございます。</p> <p>例えばというところで、17 ページを御覧ください。校務での利用と</p>

	<p>ということで、管理職が保護者に向けてそちらの内容を Bard に指示すると、18 ページのような例が生成されたり、19 ページ、Facebook の文面作成を指示すると、20 ページの内容が生成されたりします。保護者宛の協力依頼や謝辞などの作成についても参考とする文面が出てまいりますので、教職員は業務の効率化や負担軽減につなげています。</p> <p>現在、教職員が校務や授業での活用について実践を積み重ねたり、検討したりするなど研究を深めているところです。</p> <p>本日の報告は以上でございます。</p>
教育長	何か御質問等がありましたら伺います。
委員	私はこの ChatGPT の活かし方がわかっていなかったもので、このように入力をすればこういうものができることを初めて知りました。
教育長	それは御自身で体験されたのですか。
委員	<p>使ってみました。なにを質問したらいいかわからなく、あまり活かせませんでした。今の報告で、使い方が知れてよかったです。</p> <p>確かにこのように使えば、先生の負担軽減にはすごくいいと思いますが、自分で考えることが減ってしまいそうで、少し怖いと思いました。</p>
教育長	<p>保護者目線などで考えた時に、何か懸念はありますか。</p> <p>こういうものが学校の中で使われていくことに対して、率直に何か思われる事はありますか。</p>
委員	中学生、高校生くらいになると、うまく使いこなしてしまうと思うので、自分で考えて文章をつくる能力などを、それに頼ってしまうのが怖いと感じました。
教育長	保護者の方々から、生成 AI が話題になるということはないですか。何かの調査結果で見たのですが、保護者で使ったことがある方が

	30%台だったと思います。つまり7割近くが使ったことがないということだったと思います。
委員	作業の合理化というところで使うのはいいと思います。しかし、例にあるように、読書感想文を生徒たちが自分で書いたものとそうでないものを、どんな形で先生方が対応していく必要があるのか、ガイドラインがあるにしろ実務的に大変難しいのではないかという印象をもっています。
教育長	事務局から、何か付け加えることはありますか。
事務局	<p>読書感想文といいますと、やはり夏休みの宿題が大きुकかかわっていると思いますが、本市としましては、夏季休暇中の課題に対する生成AIの活用について、保護者向けの通知を送付しております。</p> <p>また、夏休み前に全校で行っていますが、まず課題の意義について、何のためにその課題を行うのか、その課題を通してどのような力が身に付くのか、ということを見守りとして共に考えて、そこを押さえたうえで課題に取り組むようにしております。生成AIを使って読書感想文を書くことが、子供たちにとってプラスになるのか否か、丁寧に指導したうえで夏休みを迎えるようにしております。</p> <p>一方で実際は、保護者の協力を得て使うような子も出てくると思いますが、それを子供たちが出してきたときに、教員はどのように対応していくかというところはまだ課題があると思います。</p>
教育長	実際に学校ごとでいろいろな取り組みをしていると思いますが、保護者に対する啓発を、その通知以外で行っている学校はありますか。
事務局	学校だよりに載せている学校はいくつかありました。
教育長	やはり委員より御指摘があった通り、教育関係者は関心を持っていますが、保護者の方はあまり関心を持っていないようですね。発想を変えるとそれが危険な部分もあります。子供はどんどん生成AIを使っているけれど、親は何をしているのかわからない。テキストベース

	<p>で一生懸命に文章を書いているから勉強していると思っていること もあると思います。従って、保護者啓発は大事になってくると思いま すし、また教師も学び続けていかないと、置いていかれます。逆に子 供の方が上に行ってしまう。</p> <p>実際、戸田市の教師は、生成 A I に触ったことがあるとか、触って いる率はどれくらいでしょうか。</p>
事務局	<p>細かい率は把握しておりませんが、学校内の研修で生成 A I の 「Bard」を紹介したり、教員研修で実際に触っていたりするのは確認 しています。</p>
教育長	<p>日常使いをしていないとしても、本市の教師は、一応使ったことは あるわけですね。</p>
事務局	<p>学校によっては 100%使っているところもあると思いますが、全校 でみると、まだ使っていない教師もいるのではないかと思います。</p>
教育長	<p>実際に触ってみなければわからないこともあるので、教師は積極的 に触ってみるべきですね。保護者にも正しく理解していただくという 活動もやっていかなければならない気がします。その辺りはいかがで すか。</p>
事務局	<p>教育長が従来からおっしゃっている「正しく怖がる」ということにつ いてですが、子供たちが AI を正しく使いこなすために、やはり先 生方が実際に使ってみて、そのメリットデメリットをしっかりとらえ ることが大事だと思います。正しく怖がりながら、子供に指導してい くという研究が進んでいけばいいと思います。</p>
教育長	<p>他にはよろしいですか。</p>
委員	<p>自らの作った文章をもとに、生成 AI に修正させたものをたたき台 にしてというのがあるのですけれども、その自らの作った文章を修正 させるというのはどのように入力すればいいのですか。自分の作った ものを全て貼り付けて修正してくださいといった感じなのですか。</p>

事務局	<p>実際に自分の書いたテキストをそのまま貼り付けて、要約してくださいということや、言い回しが不適切なものがあれば修正をというように指示を出すとそれが出てくるというようなものです。しかし、それが正しいかどうかは定かではないです。</p>
委員	<p>入力文字数なども制限なく、入力できるのですか。</p>
事務局	<p>無制限ではないですが、長い文章も入力できます。途中で切れてしまうこともあります。続けてくださいというと、その続きができます。</p>
教育長	<p>生成AIに書かせるとうなるが、自分ではこう考えるということなどを対比させて、自分の頭の中で吟味することに学びの価値があります。自らが書いたものとAIで書いたものとを比較して、考えていくような相談的な活用は重要な活動だと思います。そうした気づきを大切にすることで学びが深まると思います。</p> <p>では、続きは次回ということによろしいですか。</p>
教育長	<p>それでは以上を持ちまして教育委員提案を終了いたします。</p> <p>続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして8件の報告がございます。</p> <p>学校施設開放事業における小中学校の体育館空調設備の使用について</p> <p>戸田市サイエンスフェスティバルについて</p> <p>不登校対策に係る動向について</p> <p>学校総合体育大会二市大会の結果及び県大会出場種目について</p> <p>埼玉大学・戸田市連携講座の開催について</p> <p>公民館講座「シニア向け市民大学コース」について</p> <p>40周年としょかん感謝祭の開催について</p> <p>その他</p> <p>資料 No. 2 に基づき、詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに</p>

	伺います。
事務局	<p>報告事項 学校施設開放事業における小中学校の体育館空調設備の使用について報告させていただきます。</p> <p>学校施設開放事業は、市民生活部文化スポーツ課の所管事業で、市内小中学校の校庭や屋内運動場等の体育施設を学校教育の支障のない範囲で市民の利用に供し、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図るものとして今日までに多くの団体に利用されています。また、今年度6月からは、幼児や児童の安全な遊び場としての利用が新たに開始されました。</p> <p>さて、資料のとおり、昨今の夏の時期は、気温や暑さ指数の高い日が続き、熱中症発生リスクが高い状況となっています。</p> <p>市では、これまで体育施設の利用に当たって、屋内運動場の空調については使用しない方針で、気温が30度を超過暑さ指数が25度と予測された場合は学校施設の使用中止の案内をしてきたところです。</p> <p>しかしながら、例えば、大会を控えた団体は練習の機会を少しでも多く確保したいとの考えから暑さの厳しい中で活動をしている事例もあり、このところ、使用者負担で構わないから空調を使用させてほしいとの要望が多く寄せられるようになりました。</p> <p>このことから、文化スポーツ課において、安全にスポーツ・レクリエーションの振興を図る観点から、特に厳しいと言われている今夏8月・9月において、急きょ、試行運用期間として無償で空調使用を可能とすることとなりました。</p> <p>電気料金の高騰が続き空調コストの大幅増加が避けられない中、受益者負担の観点から来年度に向けて使用料を設定し、本格運用を目指しているとのことです。</p> <p>以上でございます。</p>

<p>事務局</p>	<p>報告事項 戸田市サイエンスフェスティバルについて報告させていただきます。</p> <p>今年度4年ぶりとなるサイエンスフェスティバルを7月22日土曜日の午後に芦原小学校にて開催いたしました。</p> <p>参加人数は460名で講座名や協力団体名、また当日の様子は資料にあるとおりです。今年度の新規としては2番サーモフィッシャーサイエンティフィックによる水性マジックペンを使用した色の不思議を学ぶ教室や、5番東京理科大学伊藤教授による電気の性質を学ぶ教室、9番の株式会社リコーの360度カメラによる撮影をとおして仕組みを学ぶ教室などがありました。</p> <p>460名という参加人数については、4年ぶりで新規のスタッフが多かったため、安全に運営する上ではちょうどよかったと感じております。また、各ブースにうまく分散されておりましたので、熱中症対策という面でも、興味関心を持続させる面でも適切であったと考えます。</p> <p>一方、過去3年間空いてしまったために低学年の参加者が多く、高学年のいわゆるリピーターが少なかったようです。今年度をきっかけに来年度以降はリピーターも含め参加者が増えることが予想されるため、今後も産官学との連携を進めるとともに、さらに充実した内容、運営体制となるよう検討していきたいと考えております。</p>
<p>事務局</p>	<p>報告事項 不登校対策に係る動向について報告させていただきます。</p> <p>これは、以前教育委員提案で不登校対策について御説明した際に、その後の様子についても適宜報告するとしたことによるものです。</p> <p>小学校の「ぱれっとルーム」については令和4年度11月から全校設置となりましたが、令和4年度には総計101名が利用、令和5年度については7月現在80名が利用している状況で、子供たちの居場所の一つとして定着されているものと考えます。同様に、中学校の</p>

	<p>「さわやか相談室」には、7月現在45名の生徒が相談室登校をしている状況です。</p> <p>戸田翔陽高校内に設置した「いっぼ」については、基本的に中学3年生を支援の中心としておりますが、令和5年度7月現在で5名が登録しており、今後説明会も実施予定です。</p> <p>シェア型オンライン教育支援センター「room-K」については令和5年度7月現在計10名の児童生徒が利用しております。</p> <p>「すてっぷ」につきましては、年々利用数が増えておりますが、令和5年7月現在42名の利用があり、8月25日からは西部福祉センター内に「西すてっぷ」を開設し、不登校児童生徒の対応に当たってまいります。</p> <p>なお、2の調査分析にかかるところでは、令和5年度は表にあるような先生方に御協力いただき、ぱれっとルーム等の効果検証を進めております。速報値としては児童・教職員・保護者いずれもぱれっとルームの効果を感じているといえる状況です。</p> <p>最後に3のシンポジウムの開催についてですが、令和4年度の状況は以前お伝えしたとおりで、令和5年度は9月9日土曜日に文化会館3階にて行います。NPO 法人全国不登校新聞社の代表理事 石井しこう様に「不登校の子が新しい一歩を踏み出す時」として御講演をいただく他、不登校の当事者の声を聞くシンポジウムや個別の相談会も実施予定となっております。チラシも添付してありますので、教育委員の皆様におかれましては御予定の許す限り御出席ください。</p>
事務局	<p>報告事項 学校総合体育大会二市大会の結果及び県大会出場種目について報告させていただきます。</p> <p>今年度の部活動の結果でございます。二重丸が県南大会出場、黒丸が県大会出場の部活動となります。</p> <p>戸田中のボート部等全国大会の状況については、情報が入り次第御報告いたします。各学校、中学3年生は、これで部活動が終わり、2年生を中心とした新たな活動がスタートしているところとなります。</p>

	<p>報告は、以上でございます。</p>
事務局	<p>報告事項 埼玉大学・戸田市連携講座の開催について報告させていただきます。</p> <p>埼玉大学連携講座は、平成 23 年度から開始し、今年度で 13 回目を迎え、年々、認知度も高まっているところです。</p> <p>「埼玉大学の研究を共に学ぼう」というキャッチフレーズのもと、教育学部や人文社会科学研究科、理工学研究科の先生方により、ロボット研究や植物、憲法改正など、市民にとっても身近なテーマで、最先端の研究成果を御講義いただきます。</p> <p>今年度は、会場開催とオンデマンド配信の回を 2 回、会場開催のみを 2 回の、全 4 回で講座を開催いたします。</p>
事務局	<p>報告事項 公民館講座「シニア向け市民大学コース」について報告させていただきます。</p> <p>これまで各公民館で実施していたシルバー講座をリニューアルし、令和 5 年度から 50 歳以上のシニアの学びの場として新たに開設しました。公民館ごとにテーマを設定し、その目的や成果に向けて共に学び、地域活動への参加や交流のきっかけとなるような情報提供をセットにすることで、地域の人材育成や市民の社会参加につながっていくような仕組みづくりを目標にしています。新曽公民館では、国際理解をテーマに、中国の文化や言語、食や太極拳などを学びながら、中国に対する理解を深め、多文化共生について考えるきっかけづくりの場としていきます。美笹公民館では、健康ウォーキングとまち歩き、下戸田公民館ではラジオ体操をテーマに、シニア世代が活躍し続けるために必要な体力づくりや健康について学ぶ機会としています。いずれも、地域人材を講師として起用し、市民活動の紹介や庁内の関係課との連携を行うことで、学びから活動へとつなげられるような講座にしています。こうした講座を通して、人材や社会資源の情報を有する生</p>

	<p>涯学習課の社会教育指導員や社会教育主事等がアドバイザーとして関与しながら、学びと活動への橋渡しを行い、いつまでも学び続けられるよう、サポートしてまいります。</p>
<p>事務局</p>	<p>報告事項 40周年としょかん感謝祭の開催について報告させていただきます。</p> <p>戸田市立中央図書館では、昭和58年11月の図書館開館から今年で40年を迎えることを記念し、皆様への感謝の気持ちを込めて、11月3日、4日、5日の3日間、記念イベントを開催します。</p> <p>主なイベントとしては、3日は、オープニングセレモニーとして、図書館ロビーを会場にとだ市民吹奏楽団によるアンサンブルコンサートを行います。</p> <p>次に、「ルルとララ」「なんでも魔女商会」などの大人気シリーズの著者、児童作家の「あんびるやすこ」先生の、トークショーとサイン会を開催します。</p> <p>4日は、バリアフリーサービスをテーマに、バリアフリー映画の上映会などを開催します。</p> <p>5日は、図書館に併設されている郷土博物館の常設展示室の中にある「古民家」で昔話などを中心としたおはなし会を開催します。</p> <p>他にも、地元小学生の作品展示、英語おはなし会、彩湖自然学習センターによる工作会、文字探しラリー、戸田の歴史に関する講座など、様々な年代の方が楽しめる内容となっております。更に、この3日間は、分館、分室、配本所でも子供向けにクイズイベントを実施します。</p> <p>また、40年を振り返る企画として、図書館のホームページで、「図書館の思い出」を募集しており、利用者や関係者からいただいたエピソードを順次紹介しています。</p> <p>このように、地域の方々やボランティア、関係団体、民間企業等と協働して、イベントを盛り上げてまいります。</p>

教育長	次に その他ですが、事務局より何かございますか。
事務局	特になし。
教育長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教育長	<p>体育館の空調設備の使用についてはいかがでしょうか。</p> <p>端的に言うと、学校が体育館を使うときには冷房を使えるが、開放団体が使うときには冷房が使えないので使わせてほしいということでした。所管が教育委員会ではなく、文化スポーツ課なので今まで連携がうまくいっていなかったところを解決したということです。</p>
教育長	<p>それでは サイエンスフェスティバルについてはどうですか。</p> <p>確か、令和元年のときにも申し上げましたが、似たような内容のものがあるのなら同じブースにしてもいいのではないかという話をしましたが、今回もブースがそれぞれ別れていましたね。</p>
事務局	今回事前に内容を細かく調整しました。プログラミングの内容がいくつかありますが、実際に指示を出して行うものが別になるよう調整をしてありますので、それぞれ全く別ものとして捉え、実施ができていると思います。
教育長	<p>今回はユーザー目線から考えると同じ内容は同じところにあった方が関心も行くだろうし、お互いにも相乗効果で高めあえるのではないかと思いますので、次回以降検討してください。</p> <p>また、参加人数はどうだったのでしょうか。令和元年度のときは冷房も効いていなかったし、猛烈に暑かった記憶があります。そのようなことを考えると、今年の460人というのも適正規模と言えますかね。</p>
事務局	暑さ対策という意味ではクーラーも効いていましたし、通路に人があふれることがなかったので、適切に行えたと思います。主催者としては、もう少し来場者数が多い見込みでした。高学年に期待していま

	す。
事務局	令和元年度は多すぎた印象があります。500人ぐらいを目標にしたいと思います。
教育長	他に何かありますか。
委員	事前に学校でチラシなどの配布はしていますか。
事務局	はい。全児童生徒に配っています。
委員	会場は毎年芦原小ですか。
事務局	はい。開始以来、芦原小学校で開催しております。
教育長	続きまして、不登校対策に関わる動向ということでいかがですか。
委員	パレットルームの方は令和4年度が101名で、令和5年度は80名ということですが、人数が下がっている理由はなんですか。
事務局	昨年度は実際に始まった11月から3月までの、2学期3学期の人数です。今年度は4月から7月までなので、これからまた増えてくると予想されます。また、学年の境目をきっかけに教室に戻っていることもあります。
教育長	続きまして、学校総体二市大会について、こちらはどうですか。例年に比べるとどうでしょうか。
事務局	大きく傾向が変わっているという印象はありません。
教育長	新曽中の陸上部はたくさんいますが、部活動の地域移行により、専門的な指導を受けられることが、影響しているのかもしれないですね。
教育長	では続きまして、埼玉大学との連携講座についてはいかがでしょうか。

	<p>この講座は、市外から戸田市の講座をうらやむ声は、非常に多いです。オンラインとかオンデマンドであれば、見せてくれてもいいのではないかという声もあります。生涯学習課には、市外からの要望などないですか。</p>
事務局	<p>蕨市の方は地域的に近いので、御要望をいただいております。</p>
教育長	<p>でも市外は対象外ですよ。</p>
事務局	<p>そうですね。戸田市在住、在勤、在学限定としております。</p>
教育長	<p>とても素晴らしい取組ですし、内容の質の高さが評価されているようですね。その辺のところこだわりなどありますか。</p>
事務局	<p>埼玉大学の内容が少し難しすぎるというのが、毎年アンケートでありました。今回は大学側に市民にも入りやすいテーマということで、ロボットや、植物、憲法など、今話題になっているものを取り上げていただきました。</p>
教育長	<p>ぜひ皆さんにも御理解いただきたいと思っているのは、イメージ的に次のページのシニア向け市民大学と混在してしまい、年配の方々が学ぶためのメニューに思われています。働く世代中心にも、学びのアップデートというコンセプトで、必ずしもシニア向けのものではありません。若い世代にどんどん受講してもらうことが課題なので、もっと発信してもいいのかもしれないですね。</p>
事務局	<p>オンデマンドを導入することによって、若い世代の受講者が増えたというのは結果として出ています。今後も配信というところでいつでも学べる状況を充実させていきたいと思っております。</p>
教育長	<p>行政としても、どの世代でも学びのアップデートは必要であるということをやっている事業なので、理解していただきたいですね。</p> <p>他にはよろしいですか。</p>
教育長	<p>では続いて、シニア向け市民大学講座ですが、こちらはシニア向</p>

	けになっていますが、市民の反応としてはどうですか。
事務局	<p>これまで単発の講座だったのですが、今回は連続してその分野の色々なものを深く学ぶことができるので、面白いテーマ設定だという声はいただいております。まもなく第1回目の国際理解の方は始まるのですが、こちらも順調に参加者が集まっている状況です。</p> <p>特に中国の国際理解のコースでは、中国出身の方による太極拳や、餃子作りが学べますので、本場の味というのも体験していただけるといことで、お勧めになっております。</p>
教育長	<p>続きまして、40周年としょかん感謝祭の開催について、何か御意見等いかがでしょうか。</p> <p>これはぜひ足を運んで、御覧いただくといいと思います。</p> <p>御質問ございませんか。</p>
委員	時間は何時からですか。
事務局	3日に関しましては9時15分～16時。4日、5日が10時～16時30分を予定しております。
教育長	開催要項は後日配る予定ですか。また、広報戸田や Facebook などで広く周知してください。
事務局	承知いたしました。。現在作成していますので、後日お知らせします。
教育長	<p>それでは以上で報告事項の方を終了したいと思います。</p> <p>では次に議案の第24号、令和6年度使用小学校教科書採択について、事務局から説明の方お願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>議案24号、令和6年度使用小学校教科書採択について説明いたします。</p> <p>御案内のとおり、今回の教科書採択は令和6年度より使用する小学</p>

	<p>校各教科の採択を行うものです。これまで教育委員の皆様には、教科書研究を詳細に行っていただき、ありがとうございました。</p> <p>8月9日には、戸田市立教育センターにて、蕨市と戸田市による第2回埼玉県第四採択地区の採択協議会が開催されました。戸ヶ崎教育長と仙波委員には、採択協議会の委員として長時間にわたり、慎重な審議を行っていただき、誠にありがとうございました。</p> <p>それでは別紙の「令和6年度使用小学校用教科用図書選定結果と採択理由案」を御覧ください。こちらは第四採択地区における小学校用教科書の選定結果です。左側に種目と発行者名、右側に戸田市としての「採択理由」の案を掲載しております。これらを踏まえ、戸田市としての教科書の採択について御審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
教育長	それでは事務局から説明がありましたが御意見・御質問などをお願いできればと思います。
委員	採択協議会の方で、どのような観点から採択されたのでしょうか。
事務局	委員の皆様からは、新学習指導要領が目指す主体的、対話的で深い学びの実現に資する教科書かということを前提に、子供たち自身が学びを進めることができるか、デジタル化を踏まえた内容となっているか、子供たちの思考や気づきに寄り添った内容か、子供たちも先生も使いやすく、保護者にもわかりやすい内容か、などの観点から多くの意見が挙げられ活発な協議が行われました。
委員	今、保護者もというところがありましたけれども、採択に向けて、保護者の意見というのはどのように扱われたのでしょうか
事務局	保護者の方の御意見につきましては、戸田、蕨、両市のPTA連合会から代表者を選出いただき、その代表者に教科書研究を行っていただきました。その報告書を採択協議会で、事務局が委員の皆様へ報告いたしました。研究報告として、協議に反映させていただいております。

委 員	学校からの意見についてはいかがですか。
事 務 局	市内全小学校の教員が、市の教育センターで開催した教科書展示会に多数参加し、各学校で、研究報告書を作成しました。これらの研究報告書をまとめ、採択協議会の委員に目を通していただき、選定にあたっての参考としていただいております。
教 育 長	それでは私の方からも、一言お願い申し上げますと、どの教科書もそれぞれに特色があって、甲乙つけがたい良い教科書だと思えました。その中から、先程、事務局から説明がありましたが、子供たちはもちろんのこと、経験を問わず、どの先生も使いやすく、子供の思考を促して、自ら考え学ぶことができるものを中心に選定をしてきたと認識しております。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められる中であって、その実現に向けて教科書の存在というのは、今後もますます大きくなるのではないかと考えております。事務局の皆さんには、この新しい教科書に学校の先生方がスムーズに移行できるように、適切に活用ができるように、引き続き支援をしてもらえればと思います。
事 務 局	ありがとうございます。今後につきましても、学校訪問などのさまざまな機会を捉えまして、学校への支援を引き続き行ってまいりたいと考えております。ありがとうございます。
教 育 長	他にはいかがでしょうか。 それでは戸田市教育委員会として、第四採択地区の選定結果の通り、採択をするということとしてよろしいでしょうか。
委 員	異議なし。
教 育 長	では、異議なしということで、案の通り採択を行いたいと思います。ありがとうございました。
教 育 長	それでは次に、次第の6 その他の「次回の教育委員会の日程(案)」

	について、事務局より説明願います。
事務局	次回、教育委員会定例会の日程ですが、9月21日(木)午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。
教育長	次回の教育委員会定例会の日程は、事務局(案)のとおりでよろしいでしょうか。
各委員	了承
教育長	<p>それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局(案)のとおり決定いたします。</p> <p>次にその他ですが、事務局から何かございますか。</p>
事務局	特にありません。
教育長	委員の皆様から、次回以降の教育委員提案のテーマについて何かございますか。
委員	<p>今日も御報告いただいたのですが、不登校について、先進的な施策を行っていますけれども、不登校の原因は、家庭なのか教員なのか学校での生活なのかわかりませんが、様々あると思いますので、何か動きがあれば、現状を定例会で御報告いただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
教育長	<p>今後に向けたことも含めながら、課題と成果ということで改めてまとめて、どこかのタイミングで報告をしてください。</p> <p>他に、何かありますか。</p>
委員	<p>クロームブックについてですが、先日他の学校の保護者の方とお話をする機会があり、「重たいのになんで毎日持って帰らなきゃいけないのか」という意見がまだ多くありました。それと、音楽の授業で、タブレット上でリズムを組み合わせて、自分だけの音楽を作るという授業を見学して、私は非常に良いと思ったのですが、保護者の中には、</p>

	なんで本物の楽器を使ってやらないのか、という意見があり、クロームブックを使うことの意義が浸透していないと感じたので、もう少し丁寧に保護者や市民の方への啓発をする必要があると思いました。
教育長	大変貴重な御意見だと思います。教育関係者、学校関係者は、当然わかっているものとして一生懸命進めているのですが、なかなかその辺の理解が、保護者や一般市民と共有されていないという所に問題点があると思っております。保護者や市民への啓発といった視点から、できるだけ早い時期に取り上げさせていただければと思います。
	【閉会】

	以上のとおり会議の経過及び結果を記し、相違ないことを証するため署名する。
	令和5年9月21日
	教 育 長
	教育長職務代理者
	委 員
	委 員
	委 員
	書 記